

高崎経済大学 地域政策研究センター公開講演会

地域政策研究センターでは、地域政策学をはじめ様々な分野の講師を迎え、地域貢献の一つとして講演会を開催しています。

今回は拓殖大学政経学部准教授の茂木創氏を迎え、ご講演いただきます。

国際化のなかの 食料自給率

— 誰のための農政なのか —

日時:平成26年11月17日(月) 14時20分~15時50分

場所:高崎経済大学図書館ホール



講師

もてぎ はじめ
茂木 創氏

拓殖大学政経学部准教授。専門は国際経済学。
1972年群馬県太田市生まれ。高崎経済大学を経て慶應義塾大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。日本経済学会、日本国際経済学会、日本経済政策学会、アジア政経学会、日本マクロエンジニ

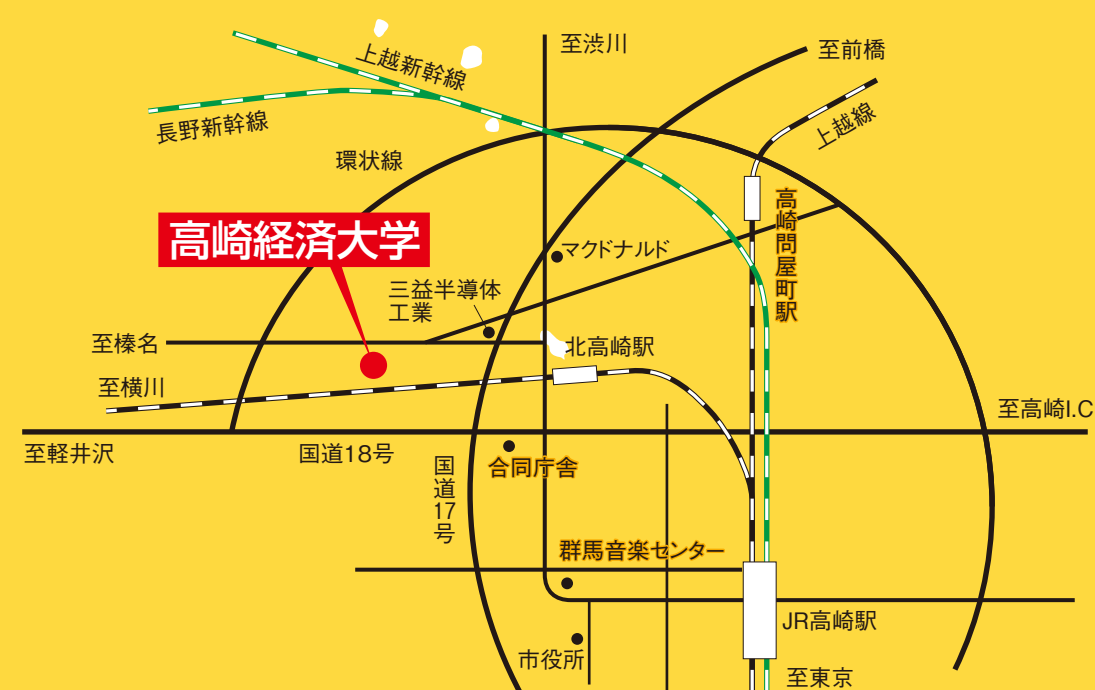
アリング学会(理事長)ほかに所属。

第24回高橋亀吉記念賞佳作(2008年)、第5回日本貿易会賞優秀賞(2010年)等、論文受賞多数。中国社会科学院世界経済・政治研究所客員研究員(財務省開発経済学研究派遣研究者)、群馬県産業教育審議会審議委員等を歴任。

近著に、『食料自給率という幻—誰のための農業政策なのか』(唯学書房)、『エンサイクロペディア 現代経済学入門』(唯学書房)がある。2014年4月から3年間、日本学術振興会科学研究費受託研究「食料・エネルギー備蓄におけるデフラグメンテーション費用」の代表研究者を務めている。

入場無料

事前申込不要
直接会場へ



主催/高崎経済大学地域政策研究センター
TEL027-344-6294 FAX027-343-7103
E-MAIL:c-kenkyu@tcue.ac.jp